（別紙）

「美浜発電所３号機事故再発防止に係る行動計画」の概要

社長の宣言と基本行動方針のもと、全社を挙げて安全文化を築き上げ、
事故の再発防止対策を確実に実施する。

＜社長の宣言＞

「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」

＜基本行動方針＞

① 安全を何よりも優先します

「安全最優先」が経営の使命であることを明確にし、社員一人ひとりが日常業務を遂行する上で判断の拠り所となるよう、分かりやすく明確な言葉で経営計画に示す。社長の明確な方針のもと、経営層自らが、安全の担い手であるという明確な認識、ならびに、一から出直す強い意識を持ち、当社の新たな安全文化をしっかりと築き上げていくこととする。

(1) 経営計画における安全最優先の明確化と浸透
(2) 労働安全活動の充実

② 安全のために積極的に資源を投入します

ゆとりある原子力発電所職場を作るため、現場第一線に対し資源の積極的な投入を行なう。また、保守管理の総合的技術力を高めるため、教育の充実を図る。

(1) 発電所保守管理体制の増強等
(2) 積極的な資金の投入
(3) 安全の確保を基本とした工程の策定
(4) 教育の充実

③ 安全のために保守管理を継続的に改善し、メーカ、協力会社との協業体制を構築します

当社は、プラントオーナーとして、計画、実施、評価等の保守管理に関する一義的な責任を有する。保守管理を実施していく上で、当社、メーカ、協力会社それぞれの持つ技術力ならびに工事の重要度等を的確に評価し、強固な協業体制を構築する。さらに監査の充実により、客観的な評価を行ない、常に改善する仕組みを構築する。

(1) ２次系配管肉厚管理システムの充実
(2) 計画、実施、評価等の保守管理を継続的に改善
(3) 監査の充実
(4) メーカ、協力会社との協業

④ 地元の皆さまからの信頼の回復に努めます

地元企業であるとの認識のもと地元との共存共栄を図るため地域共生に取組む。事故で失われた信頼を回復し、今後も永続的に地元の皆さまから信頼をいただけるよう、皆さまの声を発電所運営、および経営に活かしていく。

(1) 原子力事業本部の福井移転
(2) コミュニケーションの充実
(3) 地域との共生

⑤安全への取組みを客観的に評価し、広くお知らせします

再発防止対策を、明確な責任体制のもと実施する仕組みならびに、客観的に確認・評価する仕組みを構築するとともに活動の内容を公表することにより、透明性を高める。

(1) 再発防止対策を確認し、評価する仕組みの構築

以　上